

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第12週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第12週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第12週（令和5年3月20日から令和5年3月26日まで）

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）流行性角結膜炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.90人と前週（12.03人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.05人と前週（5.27人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.33人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“新年度に向けて、今一度「感染症対策」の確認を！”について取り上げました。

新年度を迎え、学校や保育園等で新たに集団生活が始まると、人との接触の機会が増加し、感染症にかかるリスクも高くなります。感染症を防ぐには、感染源を断つ、感染経路を遮断する、免疫力を向上させることが重要です。感染経路は、感染源となる病原体の種類により異なるため、周囲の流行状況を把握した上で、適切な対策を実施することが大切です。また、ワクチン接種による免疫力の獲得も、感染症の予防には非常に有効です。

お子さんの体調が悪い場合は、早期診断や早期治療のためにも、無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

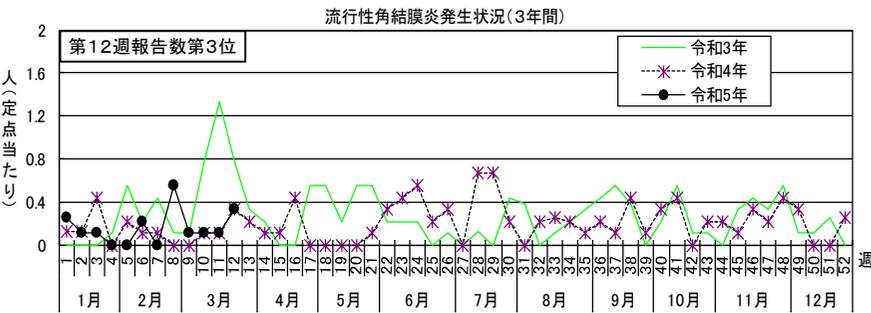
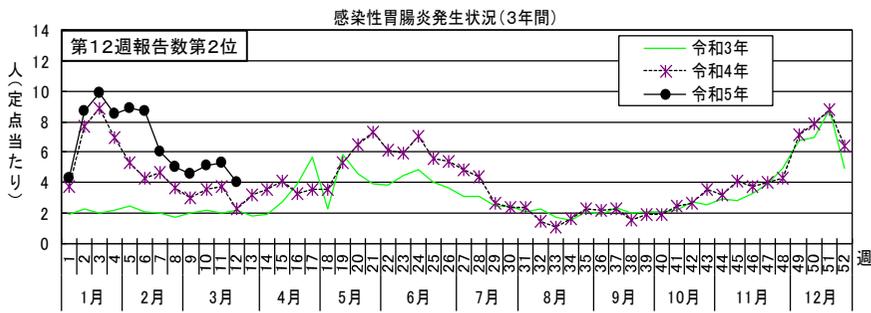
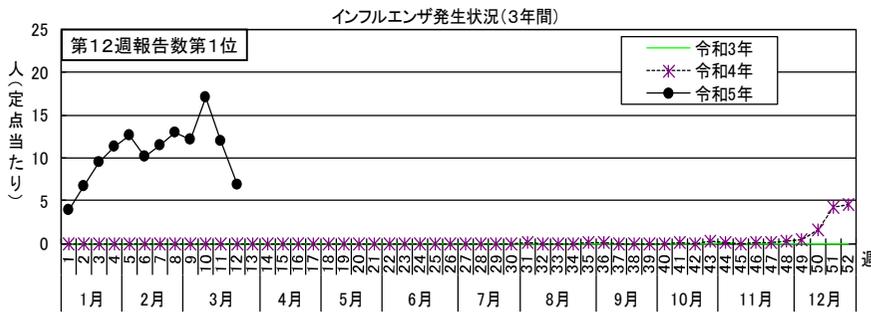
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年3月20日（月）～令和5年3月26日（日）〔令和5年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は6.90人と前週（12.03人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.05人と前週（5.27人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.33人と前週（0.11人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



新年度に向けて、今一度「感染症対策」の確認を！

新年度を迎え、学校や保育園等で新たに集団生活が始まると、人との接触の機会が増加し、感染症にかかるリスクも高くなります。感染症を防ぐには、感染源を断つ、感染経路を遮断する、免疫力を向上させることが重要です。感染経路は、感染源となる病原体の種類により異なるため、周囲の流行状況を把握した上で、適切な対策を実施することが大切です。また、ワクチン接種による免疫力の獲得も、感染症の予防には非常に有効です。

お子さんの体調が悪い場合は、早期診断や早期治療のためにも、無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

感染経路別対策

【飛沫感染】(主な病原体：A群溶血性レンサ球菌、インフルエンザウイルス等)



- ・咳エチケット
- ・体調不良の大人はマスクを着用

【接触感染】(主な病原体：ノロウイルス、アデノウイルス等)



- ・手指衛生
- ・家庭でもタオル等の共用を避ける。
- ・吐物やおむつ等の適切な処理

【空気感染】(主な病原体：麻疹ウイルス、水痘・带状疱疹しんウイルス等)



- ・部屋の換気
- ・ワクチン接種

感染力が非常に強い麻疹などは、ワクチン接種が極めて有効です。

【経口感染】(主な病原体：腸管出血性大腸菌、黄色ブドウ球菌等)



- ・食材の適切な温度管理
- ・食材の十分な加熱
- ・調理器具の洗浄